

平成30年度希望の大地の戯曲 北海道戯曲賞
大賞受賞作品リーディング公演

バージン・ブルース

作・大池容子

監修・斎藤歩（札幌座チーフディレクター）
演出・前田透（劇団・木製ボイジャー14号代表）



私たちは、家族だった。

出演

山野久治 松橋勝巳

上総真奈 (ELEVEN NINES) 横尾寛 (平和の鳩)

2019 3.24 Sun 14:00-

扇谷記念スタジオ シアターZOO

主催 | 公益財団法人北海道文化財団 協力 | 公益財団法人北海道演劇財団 助成 | 一般財団法人地域創造



HOKKAIDO
ARTS FOUNDATION
公益財団法人 北海道文化財団

バージン・ブルース

作・大池容子 (うさぎストライブ)

演出・前田透 (劇団・木製ボイジャー14号代表)

監修・斎藤歩 (札幌座チーフディレクター)



大池容子

劇作家・演出家・うさぎストライブ主宰
アトリエ春風舎芸術監督

1986年生まれ、大阪府出身。日本大学芸術学部演劇学科劇作コース卒業。2010年、劇団青年団演出部に入団。同年、うさぎストライブを結成し、現在までに23作品を発表。その全ての公演で作・演出を担当する。「どうせ死ぬのに」をテーマに、演劇の殻を使って死と日常を地続きに描く作風が特徴。2013年9月、芸劇eyes番外編・第2弾「God save the Queen」に参加し、地下鉄サリン事件を遠景に交差する人々の思いを描いた「メトロ」を上演。2013年12月、アトリエ春風舎の芸術監督に就任。

すあら

結婚式場の控え室。新婦の女はウエディングドレスに身を包み、煙草に火をつける。彼女の視線の先には、初老の男たち二人。夫婦のようにも見える彼らのやり取りを、娘である女は慣れた様子で眺めていた。父の一人である男の走馬灯として語られる、奇妙な家族のありふれた物語。

出演	山野久治 松橋勝巳 上総真奈 (ELEVEN NINES) 横尾寛 (平和の鳩)
----	---

2019年 3月24日 日 14:00 開演

※開場は開演の30分前

終演後アフタートーク	出演:大池容子 / 前田透 / 斎藤歩
------------	---------------------

会場 扇谷記念スタジオシアターZOO

札幌市中央区南11条西1丁目3-17 ファミール中島公園地下1階

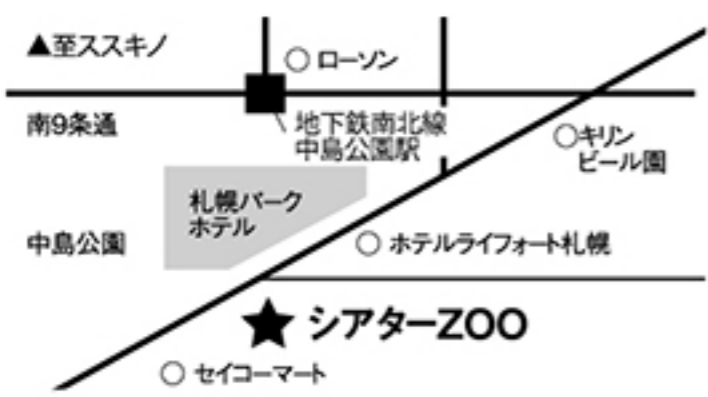
料金 1000円 (前売・当日共通 / 全席自由・税込)

ご予約 公益財団法人北海道文化財団



←WEB予約 <https://haf.jp/ticket.php>

☎ 011-272-0501 (平日 9:00~17:30)



アクセス

地下鉄南北線「中島公園」駅下車
1番出口より徒歩7分
3番出口より徒歩5分

※劇場併設の駐車場はございません。
公共交通機関でのご来場をお勧めします。

希望の大地の戯曲
北海道戯曲賞

全国に門戸を開き次代を担う劇作家や優れた作品を発掘するとともに、道内外の作家が互いに競い合うことにより、北海道における演劇創作活動の活性化を図ることを目的としております。

第2次審査員
桑原裕子 / KAKUTA 主宰
斎藤歩 / 札幌座チーフディレクター
土田英生 / MONO 代表
長塚圭史 / 阿佐ヶ谷スバイダース 主宰
前田司郎 / 五反田団 主宰



HOKKAIDO ARTS FOUNDATION

公益財団法人 北海道文化財団